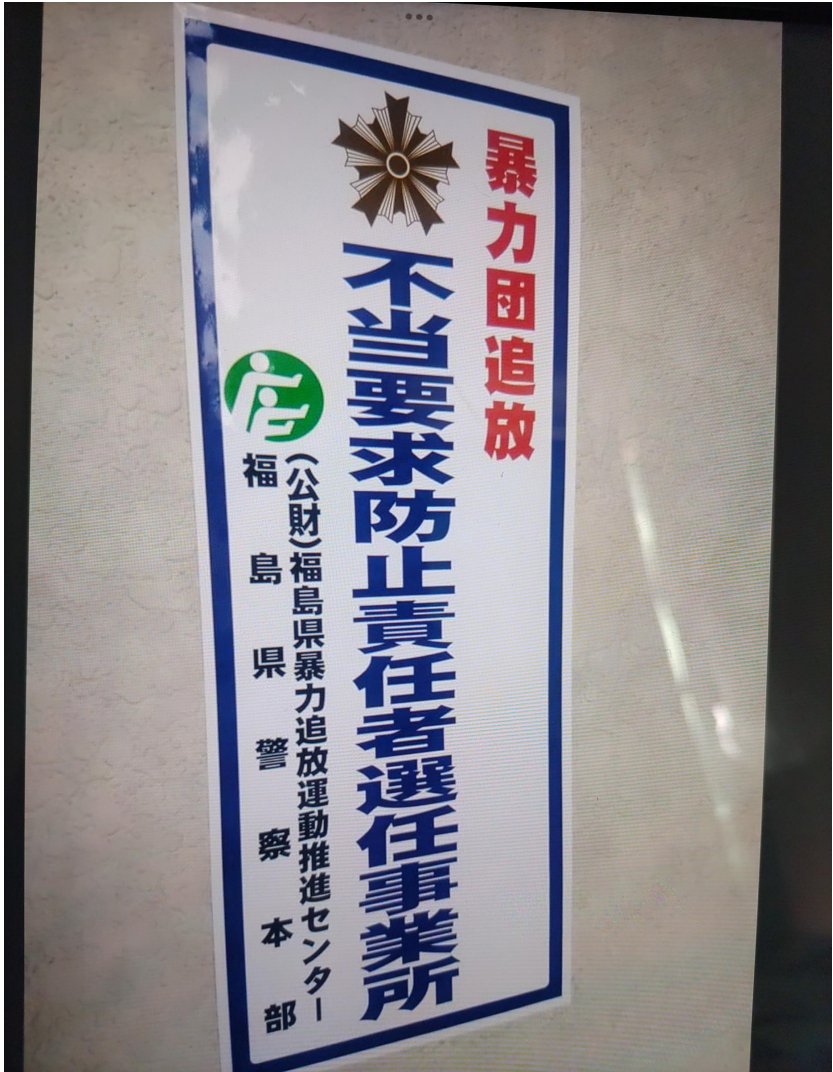


放射能勉強会イントロダクション

NPO法人日本予防医学総合研究所 大河内晃



大河内晃 自己紹介

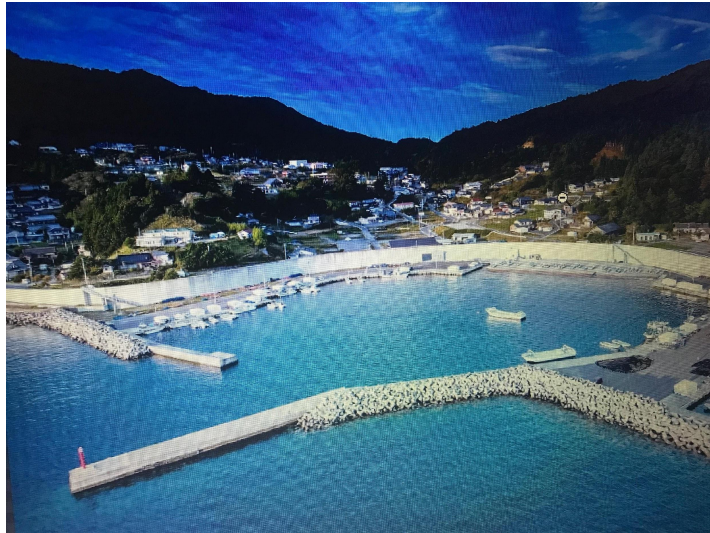
昭和42年11月24日 東京都杉並区生まれ
私立 明星学園中学校 高等学校へ進学

子供の頃の夢 動物園の飼育係になる事



高校3年生の時に生物の先生から「海の生き物」の話し
を聞き北里大学水産学部へ進学

岩手県気仙郡三陸町越喜来



水産学部三陸キャンパス



水産食品学を専攻



微生物学研究室へ



微生物は生命の根源

ビブリオ病菌のギンザケ正常赤血球に対する溶血毒素産生機構の解明

ワクチンの基礎研究

大阪大学医学部より提供された
ビブリオ病菌を用いて魚の病気の
ワクチンを研究



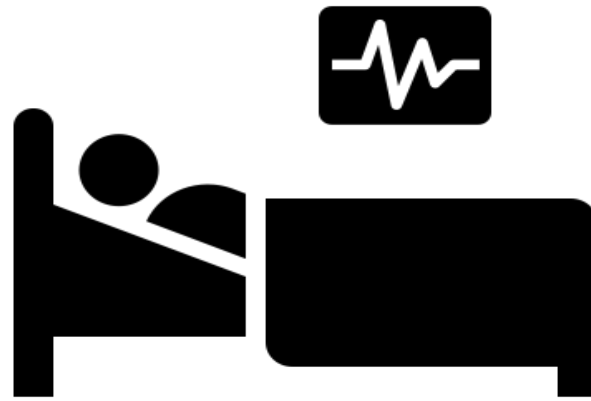
株式会社ヤクルト本社に入社



ヤクルト本社京都工場での仕事

ヤクルト ミルミル ビフィールなどの製品の品質管理 乳酸菌
ビフィズス菌の培養管理





大きな病気
会社も行けずに寝たり起き
たり 2年間程

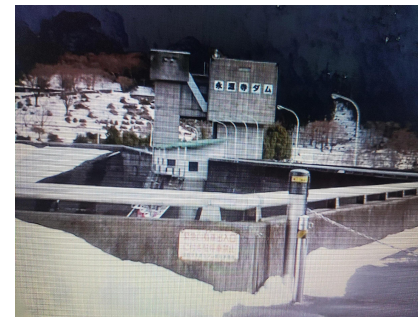
**社会復帰 工事現場で働く生活安全
産業 警備員の仕事と出会う**

関西の多くの現場を経験
京都(宇治から福知山)大阪 兵庫

葬儀場での交通誘導 万引き Gメンな
どを経験

記憶に残る仕事

滋賀県 東近江 国道の橋の架け替え工事



警備員とは人の命を守る仕事

警察官 消防士 海上保安官と違う

特別な権限を持たない一般私人 警備業法 15条

警備業者及び警備員は、警備業務を行うに当たっては、この法律により特別に権限を与えられているものでないことに留意するとともに、他人の権利及び自由を侵害し、又は個人若くは団体の正当な活動に干渉してはならない。

大前提 自分の命は自分自身で守る

事故の未然防止 事故発生時の被害の最小化

現場からの情報を迅速かつ正確に発信する事が重要

安全性の確保などについて、科学的な根拠に基づいて、透明性を持って国内外にしっかりと情報発信していくことが何よりも重要であると考えており、政府をあげて風評対策に全力を尽くして参ります（岸田内閣総理大臣 アルプス処理水海洋放出に際して）

正確な情報の発信とそれに基づく教育を通じて放射能への理解を醸成する（災害支援活動 大河内が現場から学んだこと）

正確な情報 5つの条件

① 現場からの一次情報

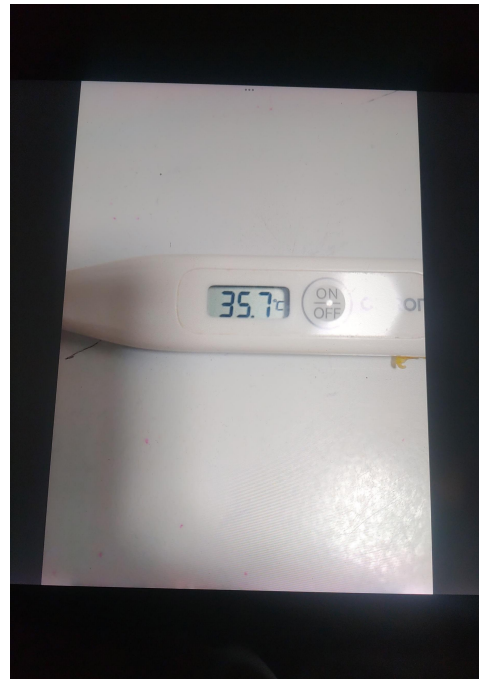
Facebook <https://www.facebook.com/akira.ohkouchi>

災害対策の基本 「広報活動を強化して、公衆に事故の発生の概要をよく知らせ、その協力を求め、不安や動揺の拡大防止に努めること」

大河内晃の Facebook活動は災害対策の一貫として行なっております。特殊活動であるため「いいね！」はお控えくださいますようお願い致します。

② 可視化した情報発信

放射能とコロナウイルスの特徴 五感で感じない (目に見えない)



EBM(科学的根拠に基づく医療)

エビデンスの開示 個人情報保護法

大河内晃のデータのみ開示

被験者は1人

何も保証できないことのリスクを含めて予防医学
早期発見 早期治療の普及活動

③インフォデミックへの対策

ソーシャルメディアなどを通じてウソやデマなどを含めた真偽不明な情報が大量に拡散される現象

情報発信と情報共有

Facebookプライバシー設定は「友だちの友だち」

A4レポート用紙にボールペン手書き コピーを手渡しで寄贈 (公共機関)



一般市民向けの講座開催

④リアルタイムでの情報発信

巧遅より拙速

真実の情報を一刻も早く提供

2012年10月からの放射能情報を蓄積 (約11年分)

公式ホームページに分かりやすく掲示

<https://akira4141.amebaownd.com>

⑤情報の無償配信

災害支援活動として情報が国内外に差別なく公平に伝わる様に「特定非営利活動」として位置付け無償配信

NPO法人日本予防医学総合研究所 大河内晃は、原発事故被災地での放射能調査活動を通じて「乳酸菌発酵食品に放射性セシウム 134及び137の体外排出促進効果がある」事をエビデンスと結果の再現性で証明しました。

NPO法人日本予防医学総合研究所ホームページ 放射能と新型コロナウイルス 食品栄養学参照

正しい情報に基づく教育活動を行い放射能への理解を醸成しコミュニティ作りを行う

放射能総論

陸上自衛隊ヘリコプター 原発建屋への水の投下作業



東日本は壊滅の危機

後世への深刻な問題 (チェルノブイリ事故)

何か自分にできる事がないか？

2012年10月福島県入り(まず現場に入る)

福島市山口 宅地除染現場 一般の除染作業員

除染作業の作業目的

原発事故により放出された放射性物質により健康被害を生ずる可能性があるため、その予防を目的に行った作業

除染作業員＝被ばく労働者

自分の命は自分自身で守る

自主的に放射能の勉強を始める

実際の作業は高圧洗浄機での真水による放射性物質の洗浄や樹木の伐採など作業目的に合っていないもの（葛尾村での除染作業は環境省直轄ではあるが、やり方そのものが間違えている）



自分自身が置かれている環境の中で何ができるか？

除染現場で行った事

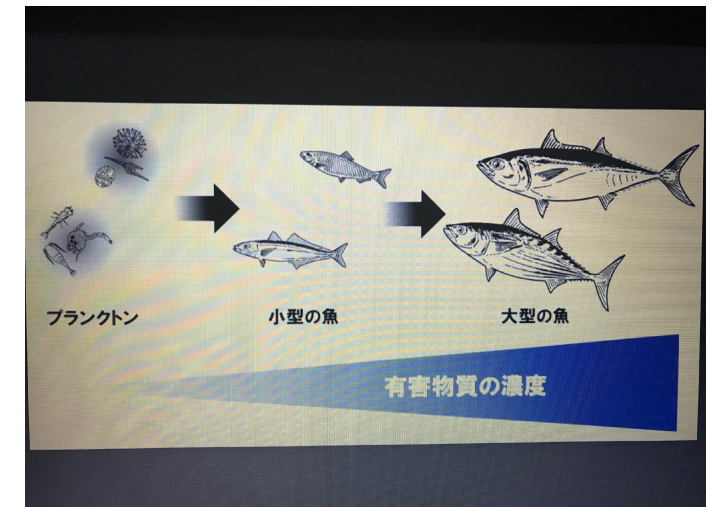
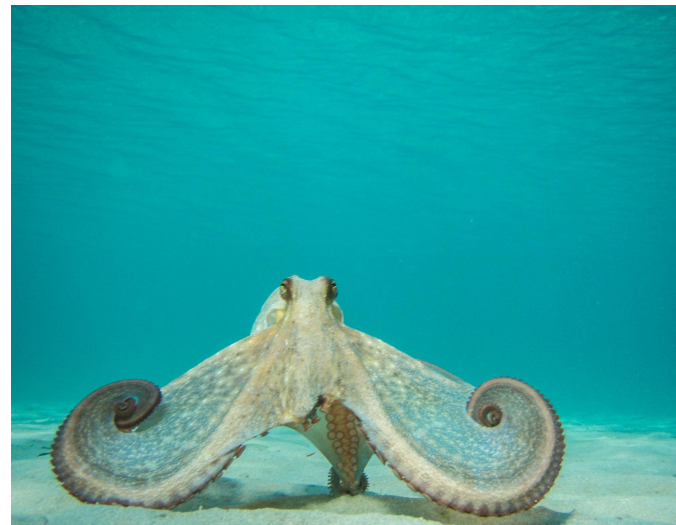
現場作業を優先に、休憩時間など空いた時間を活用して

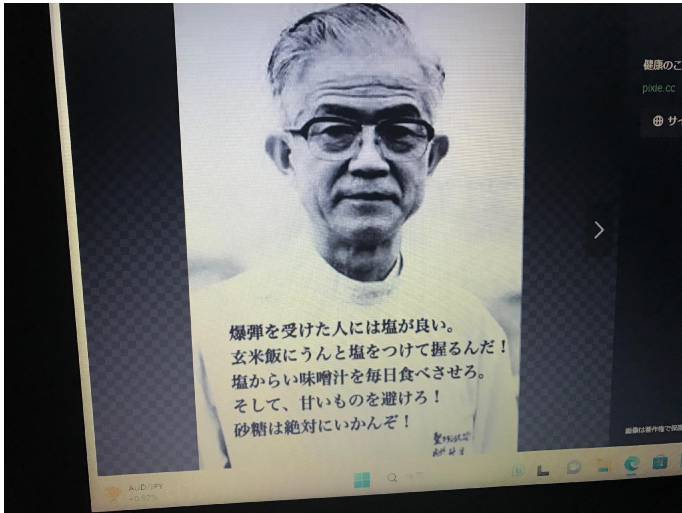
① Facebookによる情報発信活動 (災害支援活動として)
震災と原発事故の風化・風評・健康被害防止を目的

②放射能調査活動 (空間放射線量などの計測)

ミズダコは肉食性であり、食物連鎖と生体濃縮のシステムによりエサ由来の毒素を蓄積すると考えるのが一般的ではあるが、代謝能力に優れ毒素を吸収するまえに体外排出する。このため、放射性物質が不検出で「安全」となる。

2012年8月2日 日本経済新聞





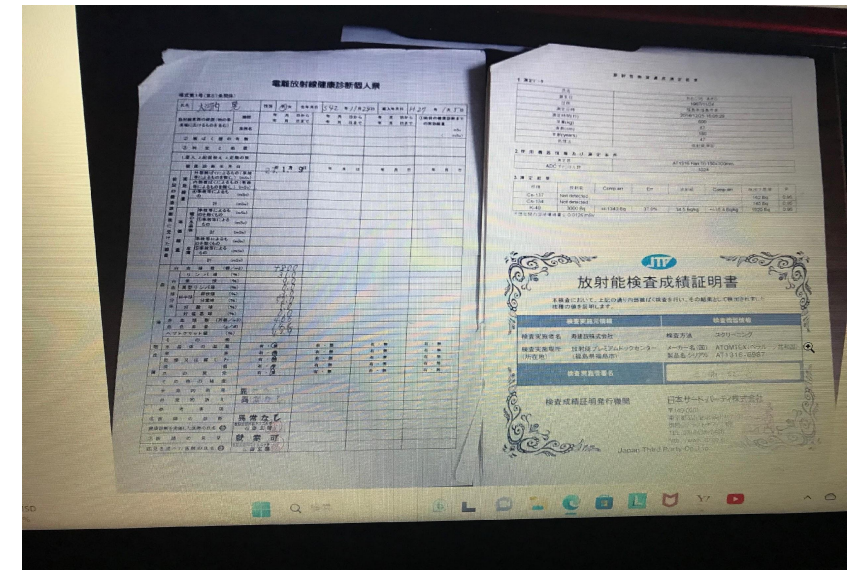
秋月辰一郎医師

長崎県原子爆弾投下時 被災者に「わかめの味噌汁」を提供し原爆症を予防した歴史的記録

戦争の混乱にありデータが残っていない

EBM(科学的根拠に基づく医療)

被験者は1名 予防医学 早期発見 早期治療



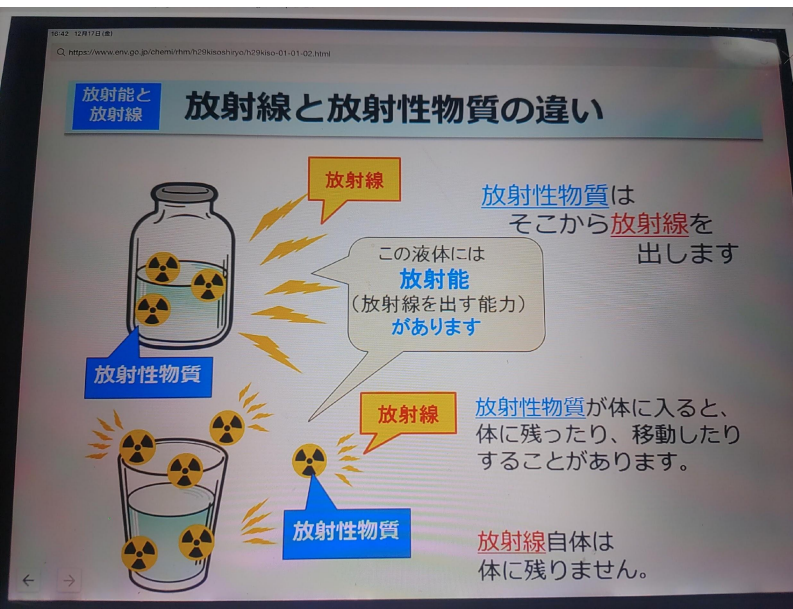
内部被曝のセッションでは チェルノブイリ原発事故 アルプス処理水問題 海洋生態系などに触れさらに詳しく勉強していきます。



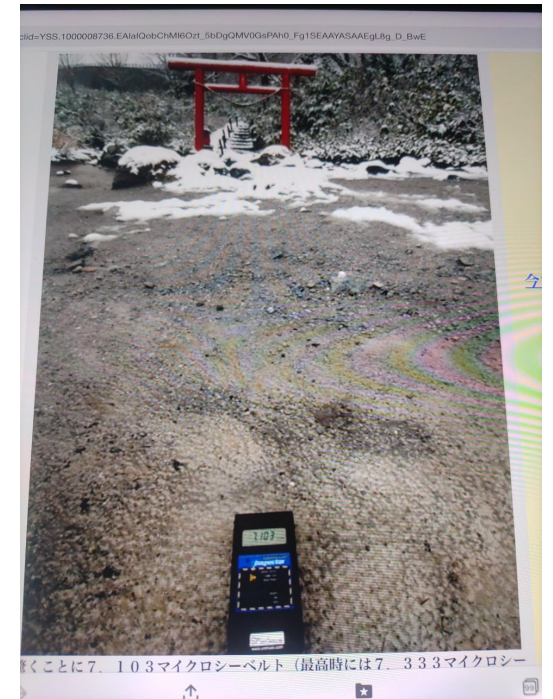
わかめの味噌汁 (海藻食 乳酸菌発酵食)

大前提 食を通じた病気の予防 早期発見 早期治療

放射線の話し(外部被曝)



(左)福島県 モニタリングポスト



(右)秋田県 玉川温泉

モニタリングポストの数字

空間放射線量 その空間にある放射線の量



人の体には「外部被爆」として影響する。

身の回りの放射線

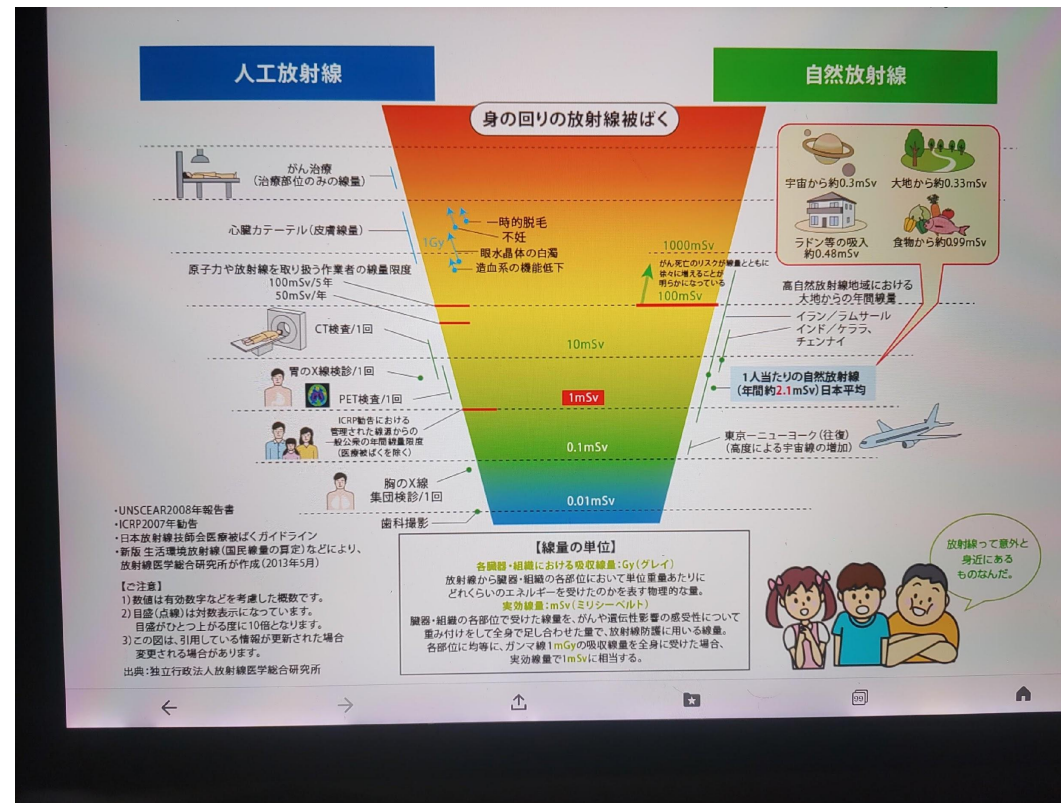
日本人は平均して1年間に2.1ミリシーベルトの放射線を自然界から受けています。

その放射線がどの放射性物質により発生しているか？が問題

(内部被爆の問題)

三朝温泉 飲泉療法 ラジウム

セシウム ストロンチウム わかめの味噌汁で予防する



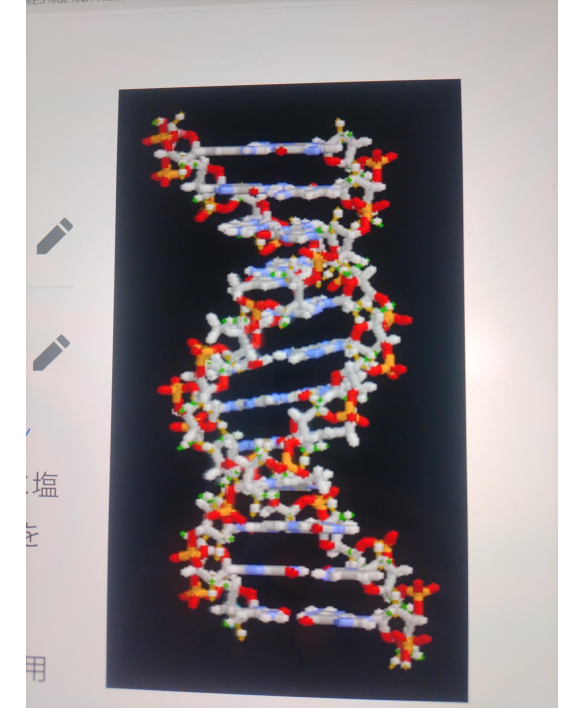
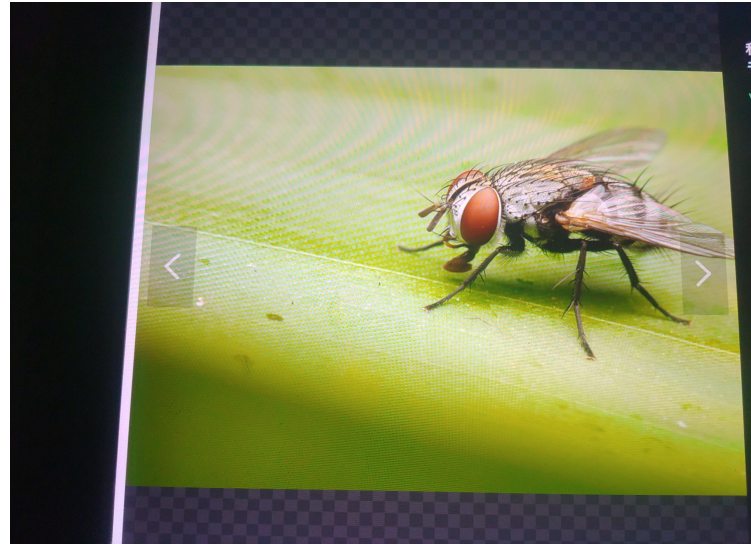
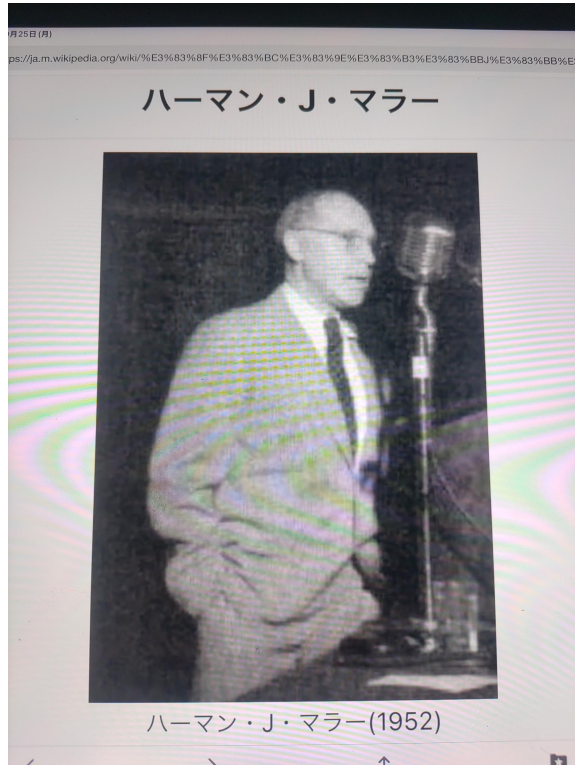
放射線を被ばくするとガンになる？

ハーマン・ジョーゼフ・マラー アメリカの遺伝学者

1946年ノーベル生理学・医学賞受賞

ショウジョウバエの雄に対する X線照射実験

放射線被ばくによる影響が子孫にも伝わる事 放射線により突然変異を人為的に発生させられることを証明した



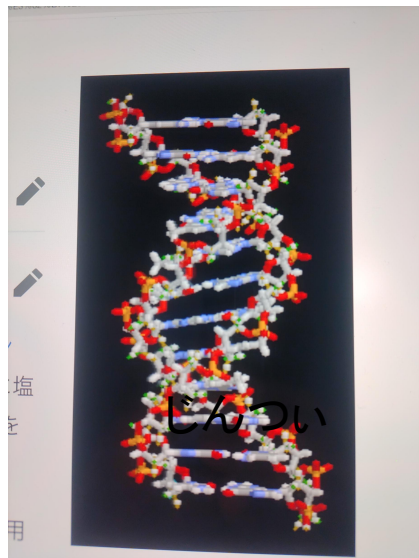
遺伝子DNA(細胞の設計図)ショウジョウバエのDNA修復活動をしない

マラー博士が実験を行った当時は DNAの研究が進んでいなかった。現在では DNAの修復活動はヒトの細胞 1個では一日に百万件行われていることに対し、ショウジョウバエの精子は修復活動をしない特別なものである事が判明している。

入浴すると毎日アカが出る
細胞は絶えず生まれ変わっている



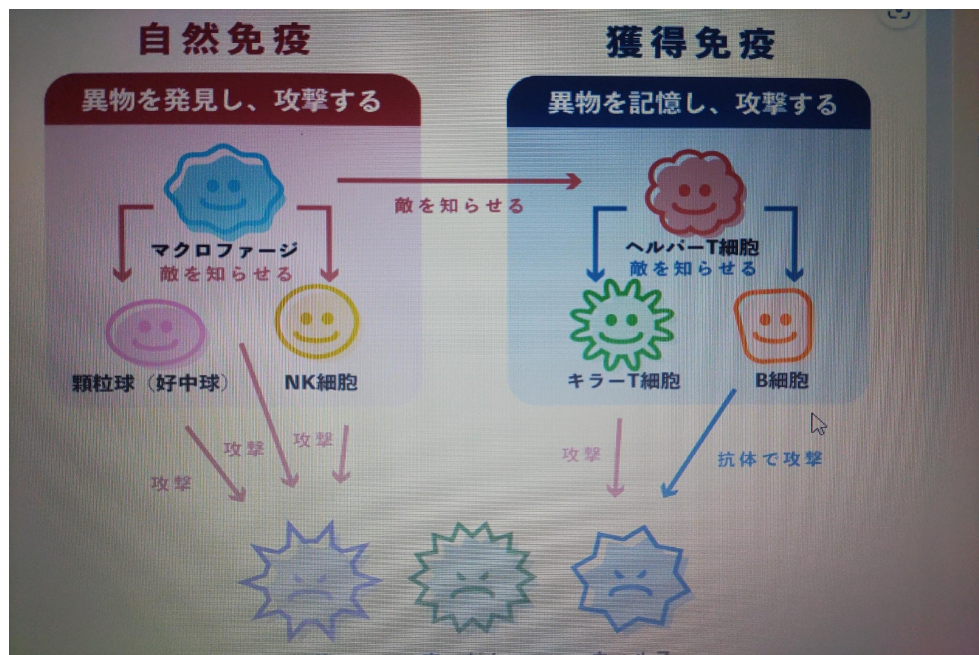
ヒトのDNA 損傷しても修復活動をする



ミズーリ大学 トーマス・D・ラッキー博士 低線量の放射線被ばくは生物の成長 発育の促進 繁殖力の増進 寿命の延長などに効果をもたらさうる (放射線ホルミシス説を提唱)

鳥取県三朝温泉 秋田県玉川温泉 有効活用

外部被曝のセッション 急性被曝について JCO 臨界事故 キューリー夫人が再生不良性貧血でお亡くなりになった事例に触れ放射線について勉強していく



人体にはDNAが放射線により損傷しても免疫機能によりそれをリカバリーできる仕組みがあります。また、血液中のリンパ球には、ナチュラルキラー細胞が存在し、ガン細胞やウイルス感染細胞を見つけ次第攻撃する自然免疫力があるので、過度に放射能を恐れて心の病や他の健康不良にならないために科学的根拠を持って放射能を理解する事が大切です。

地域コミュニティサークル芝桜の会について

QOLの向上と持続可能な社会作りに貢献する

チェルノブイリ原発事故後、被ばく量とは関係なく PTSD 鬱 心身症などの心の病 アルコール依存 自死 小児甲状腺がんが増加し、旧ソ連や欧州では低線量被曝を恐れ堕胎も急増したとされます。福島県内においても若年層で心の病を持つケースも増加している状況にありその対策が必要です。

NPO法人日本予防医学総合研究所では、これまでの知見により放射能に関する教育事業を行うと共に①食育活動の推進 ②海の活動を通じた交流事業 ③伝統文化の継承を 3本柱に地域コミュニティサークル芝桜の会を運営し、震災の教訓を後世に伝承して参ります。芝桜の会の活動に、みなさまの御理解と御支援をいただきます様、宜しくお願い致します。

以上